

第5回全国「山の日」フォーラム 企 画 書（案）

2019 年 12 月 25 日
一般財団法人全国山の日協議会

趣 旨：

本会では、祝日「山の日」の周知活動、山と自然での諸活動に伴う各種問題への課題提起等を目的として、関係諸官公庁とともに 2015 年 3 月より継続して《全国「山の日」フォーラム》開催し、シンポジウムにおいて、1) たくましい子どもたちの育成、2) 森林と水資源の保全、3) 山と自然の安全と防災、4) 地域振興などを主なテーマとして、現状の課題と展望、そしてその解決へのアプローチなどのご議論を頂戴してまいりました。

昭和、平成、そして令和と新しい時代へと移り変わるなかで、「子どもたちの自然体験機会」の減少には著しいものがあり、これは自主的判断力の鍛錬や、自由と責任の認識、災害発生時の避難生活での忍耐力の養成といった機会の喪失でもあり、日本の将来にとって大きな負の要素となることが懸念されます。

「たくましい子どもたちの育成」を目的とする事業の多くは、それが自然体験として実践されることから、2)「森林と水資源の保全」、3)「山と自然の安全と防災」とも関連付けられながら推進されるものであり、かつその結果として4)の「地域振興」にも結びつくことであると考えられます。

こうしたことから、本会では 2020 年 7 月 5 日～6 日（予定）に第 5 回となる全国「山の日」フォーラムを開催し、これまでのフォーラムで「たくましい子どもたちの育成」のパートで議論が重ねられてきた「青少年の自然体験機会の醸成」を主たるテーマに、具体的な事例、さらに推進するための法整備について、ご関係者、国会議員、関連する省庁の皆様、この分野に関心のある一般の方々にお集まりいただき、理念、施策の展望、民間による推進策の検討などについてご議論いただきたいと思います。

1. 概 要

期 日： 2020 年 7 月 5 日（日）～7 月 6 日（月）2 日間

会 場： 安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター
〒384-0071 長野県小諸市大久保 1100 番

主 唱： 一般財団法人全国山の日協議会

主 催： 第 5 回全国「山の日」フォーラム実行委員会

構成：一般財団法人全国山の日協議会

公益財団法人安藤スポーツ食文化振興財団

警察庁 消防庁 文部科学省 スポーツ庁 林野庁 国土交通省
観光庁 環境省 農林水産省 総務省 内閣府 長野県 栃木県
鳥取県 山梨県 大分県 山形県 他 （予定）

後 援： 松本市 小諸市 那須町 米子市 大山町 甲府市 九重町 竹田市
山形市 上山市

読売新聞社 朝日新聞社 毎日新聞社 日本経済新聞社 東京新聞

産業経済新聞 日本放送協会 共同通信社

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

公益社団法人日本山岳会 公益社団法人日本山岳ガイド協会

日本勤労者山岳連盟

筑波大学山岳科学学位プログラム

山梨大学山岳科学特別教育プログラム

静岡大学山岳科学教育プログラム

信州大学山岳科学教育プログラム 他 (予定)

特別協賛： 日清食品ホールディングス株式会社

協 賛： 味の素株式会社

株式会社マツモトキョシホールディングス

株式会社ゴールドウイン

(以上4社は全国山の日協議会のオフィシャルパートナー)

協 力： 自治体 一般企業 アウトドア関連企業 等

目 的：

- (1) 「青少年自然体験活動等の推進に関する法律案」の制定とその円滑な運用についての課題提起と継続的議論の契機とすること
- (2) 国民の祝日「山の日」の広範な周知
- (3) 継続して開催されている「山の日」全国大会の周知

2. シンポジウムの構成

【プログラム（調整中）】（省庁、関係者等と調整し実施計画案を立案する。）

テーマ1：青少年の自然体験機会の醸成と「山の日」

開 催：7月5日（日）13：00～17：00

基調講演：たくましい子どもたちが日本の未来を担う

～青少年自然体験活動等の推進に関する法律案について～

衆議院議員 務台俊介（本会 理事）

講 演：山好きな子供を育てたい 松本市副市長（調整中）

発 表：関連省庁の担当者

テーマ2：「青少年自然体験活動等の推進に関する法律案とその運用」

7月6日（月）09：00～12：00

講 演：企画調整中

発 表：農山漁村の実務担当者

パネルディスカッション：企画調整中

3. 推進体制

主唱者の関係団体、官公庁、自治体より実行委員を選任し、第5回全国「山の日」フォーラム実行委員会を構成し関係者とともに諸事の運営にあたる。運営の実務は、一般財団法人全国山の日協議会事務局内に置かれる実行委員会運営事務局が担い、国会議員への参加依頼については「山の日」議連事務局に、またと関連団体については安藤百福センターに、それぞれ協力を仰ぐ。

4. 告 知

(1) 官報、後援メディア各社、協賛各社による告知

および全国山の日協議会の関係者へ告知協力依頼をいたします。

(2) インターネットによる開催情報の配信

5. スケジュール (予定)

12月中	本会運営委員会で事業骨子案の承認
1月中旬	第5回全国「山の日」フォーラム実行委員会組成準備
2月中旬	第5回全国「山の日」フォーラム実行委員会発起総会 実行委員会第1回総会 設立、実施計画案の承認 講演者、出演者、協賛者の詳細交渉開始
3月上旬	開催情報の告知
7月5日～6日	開催
8月下旬	実行委員会第2回総会 (解散総会)

6. 予 算 案 (単位：円)

【収入】	主唱者拠出金	300,000	【支出】	謝礼等	100,000
	特別協賛金	300,000		広報費	200,000
				運営費	300,000
	合 計	<u>600,000</u>		合 計	<u>600,000</u>

以 上